



DIST.NO.2530

ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA

WEEKLY REPORT

2013-14 年度 福島ロータリークラブ会報 vol.22

■例会日/2013年12月5日(木) ■開会点鐘/12:30
■会 場/ホテル「辰巳屋」8F

■12月は「家族月間」です

福島ロータリークラブホームページ
<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5の1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30 【例会場】ホテル辰巳屋 8F
【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp



第22回 会長挨拶

2013-14年度 会長
紺野 晴郎

師走となりました。12月は家族月間です。特に「絆」を大切にロータリー家族の輪を広げインターアクト・ローターアクト・ベトナムの福島クラブ奨学生・OB会員・マリキナ双子クラブと、そして、一番大切な会員皆様のご家族です。6番目の奉仕活動として家族奉仕を挙げさせて頂いております。…が、今は毎日忘年会で昨日は忘年会のダブルヘッダーでした。

今日はダブルブッキングでロータリー理事会があるので税理士会を欠席させていただきました。健康について不安がありますが、私の場合は肝臓だけが頼みの綱なので、夜の8時以降は極力ウーロン茶に切り替えて乗り越えようと思っております。

今日は去る11月7日に開催いたしました指名委員会の結果を受けての年次総会です。2014-15年度の理事・役員を選びます。宜しくお願ひしたいと存じます。

お客様並びに来訪ロータリアン

●ベトナム留学生

グエン・タン・ナム さん

*奨励金の贈呈

●ビジター 福島中央RCより

芳賀 裕 様



私のひとこと



後藤忠久 会員

東日本大震災の発災から2年9ヶ月が経過し、今、福島市の復興を考える時、除染活動は最優先で行われなければならない事項ですが、除染活動はあくまでも「復旧事業」であり、福島市の将来を見通す「復興事業」が最重要課題と考えます。そして復興事業を計画

するにおいて最も重要な事は、「福島市の将来ビジョン」をしっかり定めることだと思います。10年後、20年後の福島市を、福島の子供たちにとって素晴らしいものとして残すためにも、福島市民が共有できる「将来ビジョン」を、民間と行政が一体となって策定したいものです。

例会次第

年次総会

※次年度役員・理事選挙に切り替えます

会員スピーチ「家族月間」にちなんで

親睦・ロータリー家族小委員会 坪井 大雄 委員長

開会点鐘 紺野晴郎 会長

国歌斉唱

ロータリー・ソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 茂田士郎 会員

四つのテスト唱和

職業奉仕委員会 後藤忠久 会員

12月誕生祝い

会長挨拶 紺野晴郎 会長

— 食 事 —

幹事報告

日比野恒夫 幹事

各委員会報告

●プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX担当

小林仁一 委員

●ロータリー研究会報告

阿久津肇 PG

●障がい者施設製品展示即売会のご案内

森川英治 会員

◎本日のプログラム

閉会点鐘

紺野晴郎 会長

例会プログラムのご案内

- 12月19日(木) 18:30～「辰巳屋」
「年忘れ家族会」
- 12月26日(木) 18:30～「辰巳屋」
「渡辺健寿会員 藍綬表彰 後藤忠久会員 厚生労働大臣表彰授賞を祝う会」

- 1月4日(土) 12:30～「辰巳屋」
「市内クラブ合同新年会」 ホスト/福島北RC

幹事報告 日比野恒夫 幹事



例会変更のお知らせ

●福島西RC、9日(月)の例会は、18時30分より「峰亀」にて夜間例会を開催しておりますのでお知らせ致します。

その他のお知らせ

●本日18時30分より、石林にて12月理事会を開催致します。宜しくお願い致します。



会員スピーチ 「家族月間」にちなんで



親睦・ロータリー家族小委員会
坪井 大雄 委員長

12月は家族月間です。各クラブでは、地域社会の家庭を援助するために活動したり、ロータリーの家族を祝います。ロータリー家族とは、ロータリアンの配偶者と子供、RI 青少年プログラムの参加者、その他ロータリーと強い結びつきのある地域社会の人々が含まれます。

◆ 家族月間の意義と展開 1

「この月間は、プロジェクトや活動、行事を通じて家族と地域社会に貢献する。クラブおよび地区は会員とその配偶者や子供、親戚、元ロータリアン、亡くなられたロータリアンの配偶者等に心配りや善意の行動を心がける。これらのことで会員増強し、退会を防止し、組織を強化し、社会の信用を得て、活力ある豊かなロータリーの発展に繋げること」とあります。

現在、インターアクター、ローターアクター、ロータリー財団学友など、ロータリーに関係するすべての人の組織を含めて「ロータリー家族」と呼んでいます。この偉大な「ロータリー家族」と共に奉仕プロジェクトを行なうことが奨められています。18年前、ハーバート・ブラウン 1995-96 年度会長は、「世界平和は地域、家族から始まる」との考えを表明しました。そして 1995 年 11 月の RI 理事会において、2 月の第 2 週を「家族週間」と指定しました。その後 2007 年 7 月、ジョナサン・マジリア 2003-04 年度会長が家族の重要性を強調し、理事会は 12 月を「家族月間」と指定し、ロータリーカレンダーに初めて記載され、「家族週間」を廃止しました。そしてマジリア会長は「ロータリー家族に温かい思いやりを」、「ロータリー家族のロータリー活動への参加を」、「家族をロータリアンに」とメッセージを寄せています。またカルヤン・パネルジー 2011-12 年度会長は、強調事項の一つに「家族」を挙げ、「万事は家族から始まり、私たちが行う奉仕すべて、または世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は家族にあります。ここから始めて社会全体を通して世界をよりよくしていくことが出来る」と述べています。

◆ 家族月間の意義と展開 2

「家族週間」から「家族月間」となったことは、以前にも増して、家族の重要性が強調されたわけですが。家族という最小単位のしっかりとした絆がより広い意味での友愛の基礎になるということでしょうか。「ロータリアンそれぞれのファミリーもありますが、ロータリー・ファミリーの友情・結束も忘れられません」「ロータリー・ファミリーとはメンバーとその家族、そしてメンバーの他にローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、ロータリアンの遺族の方々、そしてロータリーの目標と理念の推進に向けて私たちと協同で活動して下さる方々で、皆

がファミリーの一員です」一世界中に広がるロータリーの「絆」と「縁」について思いを馳せる月でもあります。

◆ ロータリーの特別月間 Special Months in Rotary

クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリー活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー (RI) 理事会が指定した月間のことです。

8月…会員増強および拡大月間

Membership and Extension Month

内部拡大、外部拡大の 2 つがあります。内部拡大は、クラブの区域内で得られている適格な職業分類の代表者に入会してもらい、クラブの会員数を増やすことです。

外部拡大とは、ロータリークラブがまだ存在していないところに、新しくクラブを設立してロータリーを拡大し、会員数を増やす活動です。この活動は、地区においてはガバナーと、スポンサークラブの協力で行われ、無地区地域では、国際ロータリー理事会のもとで遂行されます。クラブの拡大は、会員数増加の牽引車的役割を担っています。

9月…新世代のための月間 New Generations Month

年齢 30 歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に、焦点を当てる月間です。クラブと地区は、新世代の基本的ニーズ、すなわち健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するように要請されています。

10月…職業奉仕月間 Vocational Service Month

一人ひとりのロータリアンだけでなく、クラブも職業奉仕の理想を日常実践するよう強調するために、特に職業奉仕に焦点を絞ったプログラムを行うよう、奨励しています。クラブに推奨される具体的活動には、①地区レベルの行事で、ロータリーボランティアを表彰すること、②ロータリー親睦活動への参加を推進すること、③職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱すること、④空席の職業分類に会員を入会させる会員増強活動、があります。

11月…ロータリー財団月間 The Rotary Foundation Month

月間中は、ロータリー財団補助金受領者その他 (例えばロータリー財団国際親善奨学生など) が、クラブ例会や教育機関や地域社会の会合で、ロータリー財団について講演するよう、示唆されています。クラブは財団の奨学金事業、および人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施する必要があります。

12月…家族月間 Family Month

前項「家族月間の意義と展開 1」をご覧ください。

1月…ロータリー理解推進月間 Rotary Awareness Month

会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の、一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間です。

2月…世界理解月間 World Understanding Month

1905 年 2 月 23 日は、創始者ポール・ハリスが友人

3人とシカゴで初めて会合を開いた日で、この日はロータリーの創立記念日です。よって2月は「世界理解月間」と指定されています。この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。また、2月23日の創立記念日は、世界理解と平和の日 (World Understanding and Peace Day) と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。

3月…識字率向上月間 Literacy Month

識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項です。地域社会で、読み書きを向上させるプロジェクトを支援します。地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結する、という観点から、この月間中に読み書き、計算のできない人々を援助するために、ロータリー地域社会共同体、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、世界社会奉仕、ロータリーボランティア、その他の既存プログラムを通して、識字率向上に取り組んでいます。国際ロータリーでは、世界的な識字推進団体・国際読書協会と協力し合い、世界的な識字推進を目指す社会奉仕プロジェクトを開発中です。ユネスコ(国連教育科学文化機関)によると、世界で9億人以上の人々は読み書きができません。その3分の2は女性です。成人、そして子どもに向けて、読書のプログラムを企画することや学校に本を寄贈すること、そして地元の図書館を援助することが要請されています。

4月…雑誌月間 Magazine Month

RIの公式機関誌『ザ・ロータリアン』および世界の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌(『ロータリーの友』など)に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。クラブはこの月間中に雑誌に関するプログラムを実施しなければなりません。各会員は、会員身分を保持する限りRIの機関誌、またはRI理事会から本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌(日本では『ロータリーの友』)を購読しなければならない、と定めています。

6月…ロータリー親睦活動月間 Rotary Fellowships Month

「ロータリー親睦活動」は、国際奉仕の一部門です。現在、約100近い親睦グループがあり、趣味や職業活動を通じて、国際親善と奉仕に貢献しています。ガバナーは、地区に地区親睦活動委員会を設置するよう奨励されています。より多くのロータリアンが、親睦活動に参加することを奨励するために、この月間が設けられました。

当クラブでも12月19日に「年忘れ家族会」を開催します。OBの方々や、インターアクト・ローターアクトのメンバー、また奨学金を提供しているベトナムの留学生の方々も参加します。会員の皆様におかれましても奥様やお子様、お孫さんとどうぞごいっしょにご参加下さい。

●ロータリー家族 (the family of Rotary)

ロータリアンの配偶者、物故会員の配偶者、子供、孫、その他の親戚、ロータリー財団学友、研究グループ交換メンバー、ロータリー青少年交換学生、ローターアクター、インターアクター、RYLA参加者、インナー・ホイールおよびその他の配偶者グループ、世界ネットワーク活動グループ。

●家族 (family) とは 辞書より

家族：夫婦とその血縁関係にある者を中心として構成される集団。

家族(かぞく)とは居住を共にすることによってひとつのまとまりを形成した親族集団のことである。また、「産み、産まれる」かわりの中から生じた親子という絆、そうしたものによって繋がっている血縁集団を基礎とした小規模な共同体が、家族である。同じ家屋に居住する血縁集団に限定して使う場合もあり、現代日本では直系親族を中心とする単家族のことを指す場合もある。

※上記内容については「ロータリージャパン」をはじめ、他クラブなどロータリー関連のサイト等から引用し掲載させて頂きました。

第42回ロータリー研究会〈ゾーン1.2.3〉報告



阿久津 肇 PG

12月3-4日に、東京(ホテルグランパシフィック LE DAIBA)で開催された上記会合に出席しました。クラブに関わりのある事項についてかいつまんで報告いたします。

そもそもロータリー研究会とは、RIの現、次期、元役員(ガバナー、ガバナーエレクト、パストガバナー)にRIとロータリー財団の方針とプログラムに関する最新の情報を提供し、RI理事会に対し意見や提案を述べる機会を与え、それらを含めた学習体験をさせるためにゾーン単位で毎年開催されます。召集者はゾーン選出のRI理事(今年は北 清治氏/浦和東RC)。

ロン・D・バートンRI会長の基調講演「Expecting on the Rotarian in Japan」に次いで

- 1) ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を
- 2) ロータリーの目的とRI戦略計画
- 3) クラブのサポートと強化
- 4) 人道的奉仕の重点化と増加
- 5) 公共のイメージと認識度の向上

についてそれぞれ90分にわたり、モデレーターと3人の

パネリストにより討議されました。

この5つのセッションのうち4つはRIが2010年より提唱しているStrategic Plan(戦略計画)に関するものであります。

戦略計画とは激動する社会の変化に応じながら、ロータリーはもっと機能的で活力ある組織でなければならないというもので、3つの優先事項[上記3)-5)]が掲げられました。

当2530地区でも2012年より「戦略計画委員会」を設置して取り組んでいますが、残念ながらRIの目指す意図とは隔たった中身になっています。今後福島クラブとしては、直前会長、会長、会長エレクトを中心に継続性Continuityと先見性Visionをkeywordとしてクラブの長期の辿るべき方向を策定しなければならないと思います。

また、人道的奉仕を實踐するには、2013年7月1日より発足したロータリー財団の「未来の夢計画」を理解し、その活用に取り掛かる必要があります。

ご承知のようにロータリー財団の年次寄付は、3年後にその50%が地区に還元されます。しかも今回の改定では、その運用は地区の裁量に任せられましたので、大いに地域の奉仕活動に利用すべきものと考えます。その結果、身近になった財団を理解することで寄付の増進にもつながるものと思います。

